

筑後川下流農業水利事業 多久導水路(上右原工区)建設工事

本地区は佐賀平野の西端部に位置し、米・麦・大豆を中心とした土地利用型農業や施設園芸が営まれています。軽度の干ばつでも農業用水が不足していたことから導水路の新設により農業用水の安定供給を図るための事業が進められています。

本工事は、多久導水路の管水路及びその附帯工事を行うもので、ダクタイル鑄鉄管布設工(φ900、φ800)、推進工、地盤改良工が主な工種です。

現場周辺は、工事期間中も麦の作付けが行われており、工事用地と交差する農道や水路の切り回し、また近接する圃場への乗入口の確保が求められるため、営農に十分配慮しながら工事を進める必要があります。そのため、農家の方に営農のスケジュールをこまめに確認し、作業間の連絡調整を綿密に行うことで農作業に支障を来さないよう対応しています。また、地域の方々に工事への理解と協力をいただけるよう定期的に『工事だより』を配布し、工事進捗状況や工法説明等について情報発信も積極的に行っています。

平成29年4月末時点でパイプライン工事は概ね完了しており、現在は復旧工を進めています。工期も残り僅かとなりましたが、作業所一丸となって無事故・無災害での工期内竣工を目指します。



監督職員からのエール

本工事は、筑後川下流農業水利事業の佐賀西部地域におけるパイプラインのうち最後の施工区間であり、今後、通水開始するためには極めて重要な工事です。

また、民家、県道、河川及び農地に隣接していることから、関係者への根回しや工事の段取りなどきめ細かな対応が必要となります。

現場代理人兼監理技術者の藤本所長は、着工当初から積極的に地元のイベントに参加したり「工事だより」を配布するなど地元住民と信頼関係の構築に努め、安全管理や品質管理等においてもリーダーシップを発揮しており、良好な現場が維持されています。

さらに工事の変更や出来形検査に関する事務においても、監督職員とのコミュニケーションを大切にして、迅速かつ的確に処理を進めていただいているところです。

工事も終盤を迎えましたが、引き続き、安全第一と高品質で工事完成を願っています。

監督職員

(写真左) 九州農政局筑後川下流農業水利事務所

工事課長 石丸正一郎

現場代理人

(写真右) 戸田建設株式会社九州支店

多久導水路作業所 藤本 健資

